



2019年2月22日

【報道各位】 <2月22日17時解禁>

東京アニメアワードフェスティバル 2019 第四弾チケット発売！ 豪華登壇者情報詳細の続報も！！

東京アニメアワードフェスティバル実行委員会及び一般社団法人日本動画協会は、3月8日(金)～11日(月)に開催する、国際アニメーション映画祭「東京アニメアワードフェスティバル 2019 (TAAF2019)」における第四弾チケットを本日、2月22日(金)17時より販売情報をご案内します。また、すでに売出し中のプログラムについての詳細な登壇者情報もご紹介します。

■日本のアニメーションの未来を探るシンポジウムに第一線で活躍するプロデューサー陣登壇！

今年の、東京アニメアワードフェスティバル 2019 (TAAF2019) では、日本のアニメーションの未来について、複数の視点より見つめ直し語り合うシンポジウムを実施いたします。

すでに、発表している「アニメーションのデジタル化に伴うアニメーターの将来像を探る」と『動きのコンペティション』講評とシンポジウムに加え、アニメーション業界の第一線で活躍するプロデューサー陣が、多様化していく世界のアニメーション事情の中で、日本のアニメーションの立ち位置を確認するシンポジウムを開催します。

【シンポジウム②「日本のアニメーションを考える グローバルとユニーク」】

日時：3月10日(日) 14:45～16:45

場所：豊島区庁舎 5階 会議室 (〒171-8422 東京都豊島区南池袋 2-45-1)

料金：無料

登壇者：加藤浩幸 (アニメーションプロデューサー)

田中伸明 (日本アニメーション株式会社 制作部長)

本多史典 (アニメーションプロデューサー)

■高畑勲監督追悼企画 豪華登壇者発表！！

TAAF2019では、故・高畑勲監督の足跡を偲ぶ、上映やトークショーを複数行います。この度は、豪華登壇者の追加情報をご案内致します。

【高畑勲追悼企画① -『高畑勲のリアル』を考える-「アルプスの少女ハイジ」「母をたずねて三千里」「赤毛のアン」】

登壇者：小田部 羊一 (作画監督)

杉山 佳寿子 (声優)

なみき たかし (アニメーション史家)

「アルプスの少女ハイジ」のキャラクターデザイン・作画監督、「母をたずねて三千里」の作画監督として知られる、レジェンドアニメーター、小田部羊一氏、「アルプスの少女ハイジ」でハイジを演じた、声優の杉山加寿子氏にご登壇頂き、秘話も交え当時の様子を振り返りながら、高畑監督が日本のアニメーションに持ち込んだ『リアル』について語って頂きます。モデレーターはアニメ史家のなみきたかし氏が務めます。

【高畑勲追悼企画② -原作を尊重し、原作を超える演出-「じゃりん子チエ 劇場版」】

登壇者：沖浦 啓之 (演出/アニメーター)

叶 精二 (映像研究家/亜細亜大学・大正大学・東京工学院アニメーション科講師/フリーライター)

友永 和秀 (アニメーター)

「ルパン三世 イタリアン・ゲーム」の総監督としても知られる、「じゃりん子チエ劇場版」で原画を担当していた、友永和秀氏、当時、同作を観客として見ており、今は第一線で活躍するアニメーターとなった、沖浦啓之氏が登壇します。作品を通して見える、原作を尊重しつつ原作世界を更に広げたアニメーション世界を作りあげた高畑監督の人となり語り合います。モデレーターは、映像研究家の叶精二氏が務めます。また、この度は貴重なデジタルリマスター版 (ブルーレイ) での上映を行います。

【高畑勲追悼企画④ -高畑勲が向かおうとしたところ-「かぐや姫の物語」】

登壇者：西村義明 (プロデューサー)

イラン・グエン (東京藝術大学特任准教授)

同作のプロデューサーであり、スタジオポノック 代表取締役の西村義明氏と、高畑監督と親交の深かった、イラン・グエン氏が登壇し、名作「かぐや姫の物語」で、高畑監督が描きたかったこと、そしてその先に目指した場所を語ります。



■その他プログラムにも日本国内外で活躍するトップクリエイターが登場！

すでに発表済みではありますが、TAAF2019にて行われる教育プログラムにも豪華ゲストが続き登場します。今回ご案内する以下2プログラムは、トップクリエイターが、いつもどんなことを思い、制作に臨んでいるのか、熱いトークが飛び交う、大変貴重なプログラム。まだお席に余裕がございますので、ぜひお越しください！！

【YOUNG POWER 2019】

日時：3月11日（月）10:15～11:45

場所：豊島区庁舎5階 会議室（〒171-8422 東京都豊島区南池袋2-45-1）

料金：無料

登壇者：京極 義昭（アニメーション演出家）

マーク・オフテダール（アニメーション監督）

若手クリエイターとして、次世代のアニメーション業界を担う、学生達の作品を紹介するプログラムです。学生達の作品を上映し、その制作者である学生も登壇します。そして、国内外のトップクリエイターから、それぞれの作品に向けて、講評とアドバイスを頂きます。

講師を務めるのは、本年の「アニメ オブ ザ イヤー部門」で個人賞 監督・演出部門を受賞した、「ゆるキャン△」の監督として注目を集めている京極義昭氏と、「トイ・ストーリー」「バグズ・ライフ」など多くの人気作品にアニメーターとして参加した、マーク・オフテダール氏。

2人のトップクリエイターより、未来のクリエイター達に向けて熱いメッセージが届けられます。

【シンポジウム③「動きのコンペティション」講評とシンポジウム】

日時：3月11日（月）12:30～14:00

場所：豊島区庁舎5階 会議室（〒171-8422 東京都豊島区南池袋2-45-1）

料金：無料

登壇者：井上俊之（アニメーター）

京極 義昭（アニメーション演出家）

りょーちも（アニメーター・キャラクターデザイナー・アニメーション監督）

『動きのコンペティション』は、演技を考える力とそれを観客に伝わる動きにする力を競うコンペティションです。応募作品の上映を行うと共に、講師として、「AKIRA」や「魔女の宅急便」などで、ダイナミックで緻密な動きのシーンを担当したことなどで有名な井上俊之氏、本年の「アニメ オブ ザ イヤー部門」で個人賞 監督・演出部門を受賞した京極義昭氏、本コンペティションで使用される、キャラクターのキャラクターデザインを行い、『夜桜四重奏 -ホシノウミ-』の監督としても知られるりょーちも氏の3名が登場。「何故演技を考え表現することが必要なのか」アニメーション業界の第一線で活躍する3氏を中心に参加者全員で考えるプログラムです。

※全てのプログラムの詳細情報などは、(<https://animefestival.jp/screen/all/>) をご覧ください。

■2月22日 第四弾チケット発売！

2019年2月22日（金）17:00より第四弾プログラムチケットの発売が決定しました。

プログラムの詳細及び、購入方法はTAAF2019公式HPをご覧ください。

◆TAAF2019公式HP チケットページ：<http://animefestival.jp/ja/ticket>

<2月22日発売チケット一覧>

プログラム名	日程	時間	会場	前売チケット料金		当日チケット料金	
				学生	大人	学生	大人
シンポジウム② 「日本のアニメーションを考える グローバルとユニーク」	3/10	14:45～16:45	豊島区庁舎 5階会議室	無料		無料	

すでに発売済みのプログラムチケットも絶賛販売中です！



<東京アニメアワードフェスティバル 2019>

- 日 程：2019年3月8日（金）～11日（月）
- 会 場：池袋シネマ・ロサ、池袋HUMAX シネマズ、シネ・リーブル池袋、新文芸坐、
シネマサンシャイン池袋、区民ひろば南池袋、サンシャインシティ 噴水広場、
サンシャイン水族館、豊島区庁舎、WACCA 池袋など
- 主 催：東京アニメアワードフェスティバル実行委員会、一般社団法人日本動画協会
- 共 催：東京都
- 特別協賛：豊島区

<報道各位からのお問い合わせ>

東京アニメアワードフェスティバル実行委員会事務局
(一般社団法人日本動画協会内)

担当：黒田・齋藤

E-mail : press@animefestival.jp

※読者・視聴者からのお問い合わせは公式 HP まで